

殺虫剤分類	4F
殺菌剤分類	P2

側条施用専用殺虫殺菌剤

農林水産省登録
第24595号

側条 オリゼメート® リディア® 顆粒水和剤

フルピリミン・プロベナゾール水和剤

いもち病に
安定した効果の
「オリゼメート®」



期待の
新世代殺虫剤
「リディア®」

ペースト肥料に混和して側条施肥田植機で本田に施用します。



を省力的に同時に処理!

側条オリゼメート[®]リディア[®] 顆粒水和剤

●有効成分：フルピリミン……4.0% プロベナゾール……48.0% 鋳物質微粉等……48.0% 性状：淡褐色水和性細粒 人畜毒性：普通物※

※毒劇物に該当しないものを指している通称

特長

いもち病・害虫にWの効果&省力的な側条施用

1. 水稻のいもち病への抵抗力を誘導

定評のあるオリゼメート(プロベナゾール)が水稻のいもち病菌への抵抗性を誘導し、安定した防除効果を示します。直接殺菌作用が無く、耐性菌出現の可能性が少ない「植物防御機構活性化剤」です。

2. 水稻の重要害虫であるイネミズゾウムシに優れた効果を発揮します。


新規殺虫成分「フルピリミン」は既存殺虫剤への感受性が低下した害虫種に対しても殺虫活性を示します。ミツバチのほかウツキコモリグモ、ヤゴ類への影響はほとんどありません。

適用病害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルピリミンを含む農業の総使用回数	プロベナゾールを含む農業の総使用回数
稲	いもち病 イネミズゾウムシ	500g/10a	移植時	1回	ペースト肥料に混合し側条施肥田植機で施用する。	3回以内(直播では種時又は移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)	2回以内(移植時までの処理は1回以内)

上手な使い方

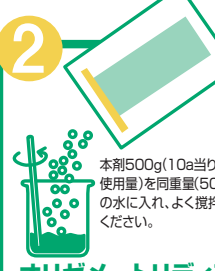
1



10aに施用するペースト肥料をバケツなどの容器に入れてください。

ペースト肥料の準備。


2



本剤500g(10a当りの使用量)を同重量(500ml)の水に入れ、よく攪拌してください。

オリゼメートリディア濃厚液をつくる。

3

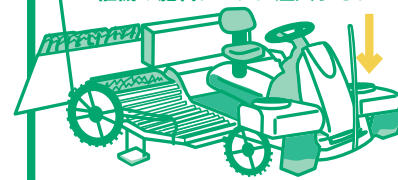


所定量のペースト肥料にオリゼメートリディア濃厚液を混合し、棒などでよくかきまわし均一に混合してください。

ペースト肥料にオリゼメートリディア濃厚液を混合する。

4


(ペースト肥料・オリゼメートリディア混合液)を側条施肥田植機の肥料タンクに注入する。



5

田植作業を始める。

作業手順と施肥量の調整などは、側条施肥の手順とおりに行ってください。



側条オリゼメート[®]リディア[®] 顆粒水和剤のQ&A

- Q** 側条オリゼメートリディア顆粒水和剤とペースト肥料混合液を移植前日につくり、翌日使用することはできないでしょうか?
- A** 移植直前に混合し、その日の内に使いきってください。
- Q** 水に溶かさず、直接ペースト肥料に混合できないでしょうか?
- A** 必ず同重量の水に入れ、よく攪拌してからペースト肥料に加えてください。
- Q** 側条オリゼメートリディア濃厚液をつくる場合、用水路の水を使用してもよいですか?
- A** 必ず水道水を使用してください。
- Q** 二層タンクの二段施肥田植機の場合、どのように使用すればよいでしょうか?
- A** 上段に加入してください。従って薬剤量は上段のペースト施肥量で換算してください。
- Q** 本剤を処理した場合、その後のいもち病防除はどうすればよいでしょうか?
- A** 本剤側条施用で従来のオリゼメート粒剤3kg本田散布と同等の薬効と持続期間が確保されますので、慣行の穂いもち防除剤と体系処理してください。
- Q** 本田で田植後に使用できないでしょうか?
- A** 側条オリゼメートリディア顆粒水和剤は側条専用剤ですから、使用しないでください。

使用上の注意

- ① 予め本剤を同重量の水に混ぜ、これをペースト肥料に加えて均一に混合し、側条施肥田植機で本田に施用してください。
- ② 本剤と混合したペースト肥料は、その日のうちに使用してください。
- ③ 同一の病害虫を防除対象とする育苗施用薬剤とは併用しないでください。
- ④ 移植後は湛水状態(湛水深3~5cm)を保ち、稲苗が活着するまで田面が露出しないように水管理に注意してください。
- ⑤ 本田が砂質土壌の水田や漏水田、未熟有機物多用田の場合には使用をさけてください。
- ⑥ 移植後、低温が続く、苗の活着遅延が予測される場合は使用をさけてください。
- ⑦ 容器・空袋はほ場などに放置せず、適切に処理してください。
- ⑧ 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空袋は圃場や水路などに放置せず、環境に影響がないよう適切に処理してください。
- 防除日誌を記帳しましょう。

お問い合わせ/ご注文は